

Kinji Fukasaku Retrospective

映画監督

## 深作欣二

2019年

4月23日(火) — 5月26日(日)

4-5月の休館日▶▶▶月曜日、4月1日(月) - 22日(月)

国立映画アーカイブ  
National Film Archive of Japan

国立映画アーカイブ [2階]

長瀬記念ホール OZU

定員=310名(各回入替制・全席自由席)

## 前売券

4月9日(火)10時より、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各100席分)を販売します。

[Pコード:559-795]

前売料金:一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円

- ・別途発券手数料がかかります。
- ・各回の開映後の入場はできません。
- ・学生、シニア(65歳以上)の方は証明できるものをご提示下さい。
- ・チケット購入方法や手数料については、5頁をご覧ください。

## 当日券(発券=2階受付)

料金:一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

◆当日券で入場される方には、開館と同時に、当日上映される全ての回の入場整理券を1階ロビーにて発券します。各日の開館時間については6頁のスケジュール欄をご覧ください。

- ・各回の開映後の入場はできません。
- ・当日券の発券は、定員に達し次第締切ります。
- ・学生、シニア(65歳以上)、障害者、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- ・当日券の発券は各回1名につき1枚のみです。

## 入場方法

- ①前売券をお持ちの方は、開場時(開映30分前)に、前売券に記載された整理番号順にご入場いただけます。
  - ②その後は、当日券の整理券をお持ちの方が、整理番号順にご入場いただけます。前売券をお持ちの方は、随時ご入場いただけます。
- 前売券・当日券は当日・当該回のみ有効です。



長瀬記念ホール OZU  
上映作品

映画監督

# 深作欣二

Kinji Fukasaku Retrospective

灼きつくような迫力で追いつめる  
暴力の生きざま死にざま——!

(『仁義なき戦い 広島死闘篇』意図、関根忠郎作)

アクションや暴力表現に革新をもたらし、斜陽に陥っていた1960年代以降の日本映画に絶えず喝を入れ続けた映画作家、深作欣二(1930-2003)。水戸市に生まれた深作は、日本大学芸術学部を卒業した1953年に東映に入社、東京撮影所でマキノ雅弘、佐々木康、関川秀雄などの助監督として修業したのち、1961年にニュー東映作品『風来坊探偵 赤い谷の惨劇』で監督デビューを果たします。ほどなく陰影に満ちたアクション映画で頭角を現し、時代の要請に応えた任侠映画や青春映画、反戦映画なども手がけますが、やがて、実際に起きた広島抗争の手記を名脚本家笠原和夫が徹底取材の末にシナリオ化した『仁義なき戦い』(1973年)を監督、ロマンスイズムに根ざした従来のやくざ映画に背を向けたこの「実録」路線は、新しい観客の絶大な支持を受けました。

その後の深作は、大作路線にかじを切った日本映画界を背負う巨匠として、1980年代からは『蒲田行進曲』(1982年)をはじめとする松竹映画や角川映画にも活路を求めます。時には芸文映画にも展開しながら、衝撃的な遺作となった「バトル・ロワイアル」シリーズ(2000-2003年)に至るまで、終生ダイナミックにその映画人生を駆け抜けました。

手持ち撮影を駆使した人を斬るようなカメラワーク、破壊へと突き進んでゆく男たちの人物造形、スターから無数の脇役までを躍動させる行き届いた集団演出など、深作映画のたたえる活劇性は今も色褪せることがありません。この上映企画は、深作監督が残した劇場向け作品61本(『総集篇』『特別篇』除く)から作品を厳選し、さらにTVドラマ2本を加え、45プログラム(48本)に組んで上映する大回顧特集です。深作映画の尽きせぬ活劇の粋を、国立映画アーカイブの大スクリーンで心ゆくまでお楽しみください。

- ㊦=監督 ㊧=原作・原案 ㊨=脚本・脚色 ㊩=撮影
- ㊪=美術 ㊫=音楽 ㊬=出演 ㊭=解説・ナレーション
- スタッフ・キャスト欄の人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。



カミカゼ野郎 真昼の決斗

©東映

1 4/23(火)1:00pm 5/18(土)11:00am

深作は、東映の量産体制の一環で1960年に製作を開始した第二東映(のちニュー東映)のSP(シスタービクチャー=添え物中篇)で監督デビューした。雪山や海辺を舞台に、映画初主演の千葉真一演じる探偵・西園寺五郎が、軽快なアクションと銃さばりで悪徳業者の謀略に立ち向かう。五郎の好敵手となるガンマン(曾根)や、ならず者集団の個性あふれる面々など、短い尺の中でも脇役まで魅力的に演出されている。

風来坊探偵 赤い谷の惨劇(62分・35mm・白黒)

1961(ニュー東映東京)㊦深作欣二㊨松原佳成、神波史男 ㊩飯村雅彦 ㊫北川弘 ㊬池田正義 ㊭千葉真一、曾根晴美、北原しげみ、小林裕子、宇佐美淳也、須藤健、故里やよい、安藤三男

風来坊探偵 岬を渡る黒い風(60分・35mm・白黒)

1961(ニュー東映東京)㊦深作欣二㊨松原佳成、神波史男 ㊩飯村雅彦 ㊫北川弘 ㊬池田正義 ㊭千葉真一、曾根晴美、北原しげみ、小林裕子、須藤健、故里やよい、小野良、関山耕司

2 4/23(火)4:00pm 5/19(日)2:00pm

探偵事務所所長の息子・天下一郎(千葉)が、オーブンを乗り回し、難事件を軽やかに解決していく痛快アクション・コメディのSP2本立て。ときおり用いられる手持ちカメラが印象的。株に熱中するお嬢様や、あの手この手で特ダネを狙うスポーツ新聞の記者といった利発なヒロインを両作で演じた中原ひとみの好演も光る。

ファンキーハットの快男児(53分・35mm・白黒)

1961(ニュー東映東京)㊦深作欣二㊨田辺虎男、池田雄一 ㊩内田安夫 ㊫進藤誠吾 ㊬三保敬太郎 ㊭千葉真一、中原ひとみ、八代万智子、加藤嘉、花沢徳衛、岡本四郎、波島進、神田隆、新井茂子、十朱久雄、須藤健

ファンキーハットの快男児 二千万円の腕(52分・35mm・白黒)

1961(ニュー東映東京)㊦深作欣二㊨田辺虎男、池田雄一 ㊩内田安夫 ㊫進藤誠吾 ㊬三保敬太郎 ㊭千葉真一、中原ひとみ、岡本四郎、花沢徳衛、神田隆、加藤嘉、小川守、十朱久雄、潮健児、須藤健、斉藤栄香

3 4/23(火)7:00pm 5/5(日)11:00am

白屋の無頼漢(82分・35mm・白黒)

深作初のシリアスなギャング映画。丹波哲郎演じる主人公の宮原は、いわくつきの人物を集めて人種や性別の異なる強盗団を結成し、在留米軍の現金輸送車襲撃を企てる。欲望うずまく人間関係や大人数の壮絶な銃撃戦を、ニュースカメラマン出身の星島一郎が手持ちカメラも駆使し巧みに捉えている。

1961(ニュー東映東京)㊦深作欣二㊨佐治乾 ㊩星島一郎 ㊫近藤照男 ㊬河辺公一 ㊭丹波哲郎、中原ひとみ、曾根晴美、久保菜穂子、ダニー・ユマ、ラヴィン・シェルトン、サイ・ティラー、八代万智子、春日俊二、沖竜次

4 4/24(水)1:00pm 5/5(日)2:00pm

誇り高き挑戦(89分・35mm・白黒)

深作の名を一躍高めた社会派サスペンス。鉄鋼業界紙の記者黒木(鶴田)は、かつて自分にリンチを加えて傷を負わせた高山(丹波)が、現在は武器密輸ブローカーとして暗躍しているのを知り、追いつめようとする。深作の批判は権力者のみならず、主権を回復しても占領期と何ら変わらない日本社会の構造全体に向けられている。梅宮辰夫がカメラマン役で深作映画初出演。なお冒頭はニュー東映のロゴで始まるが、ニュー東映は1961年11月に解消され、本作は深作最初の東映本体作品となった。

1962(東映東京)㊦深作欣二㊨佐治乾 ㊩星島一郎 ㊫荒木友道 ㊬河辺公一 ㊭鶴田浩二、丹波哲郎、梅宮辰夫、中原ひとみ、楠侑子、大空真弓、小沢栄太郎、山本麟一、チコロランド、山口勇、神田隆

5 4/24(水)4:00pm 5/11(土)4:45pm

ギャング対Gメン(82分・35mm・カラー)

元ギャングの東島(鶴田)は、辰村(丹波)率いる犯罪組織の捜査を警察から依頼される。ギャングに復帰したと見せかけるため、一芸に秀でたメンバーを集めて東島組を結成し、辰村の資金源を突き止めようと奮闘する。日本でもヒットしたアメリカのTVドラマ「アンタッチャブル」(1959-63)が下敷きになっている。

1962(東映東京)㊦深作欣二㊨但馬栄 ㊩山沢義一 ㊫北川弘 ㊬河辺公一 ㊭鶴田浩二、丹波哲郎、梅宮辰夫、千葉真一、佐久間良子、曾根晴美、織本順吉、砂塚秀夫、富田仲次郎、加藤嘉、沢たまき

6 4/24(水)7:00pm 5/12(日)10:30am

ギャング同盟(80分・35mm・白黒)

出所した風間(内田)は、昔の仲間とともに、日本を牛耳るギャングの会長を身代金目当てに誘拐しようとする。「組織」とだけ呼ばれ全貌が判然としないギャングの存在が不気味な空気を漂わせている。大島渚作品で知られる佐藤慶や戸浦六宏といったクセのある助演俳優陣の熱演も見どころ。

1963(東映東京)㊦深作欣二㊨秋元隆太、佐治乾 ㊩山沢義一 ㊫中村修一郎 ㊬眞鍋理一郎 ㊭内田良平、三田佳子、佐藤慶、戸浦六宏、曾根晴美、山本麟一、楠侑子、アイ・ジョージ、薄田研二、平幹二郎

7 4/25(木)1:00pm 5/5(日)4:30pm

狼と豚と人間(95分・35mm・白黒・英語字幕付)

深作が佐藤純彌とともに脚本を書いた作品で、東京オリンピックを目前に控えた8月に公開された。悪臭の染みついたスラムを舞台に、そこで生まれ育った3兄弟が、強奪した金をめぐり凄惨な争いを繰り広げる。深作は罵声と悲鳴と銃声の中で、経済成長に取り残された持たざる者たちの抵抗を描き出している。

1964(東映東京)㊦深作欣二㊨佐藤純彌 ㊩星島一郎 ㊫藤田博 ㊬富田勲 ㊭高倉健、三國連太郎、北大路欣也、江原真二郎、石橋蓮司、中原早苗、志麻ひる子、岡崎二郎、泗水誠一、越前谷政二、沢彰謙

8 4/25(木)4:00pm 5/19(日)4:45pm

おどし 脅迫(84分・35mm・白黒)

会社員・三沢(三国)の家に、誘拐した赤ん坊を連れて二人組の脱獄犯(西村、室田)が居座る。三沢は、協力を強要する脱獄犯に打ち勝ち、人質に取られた妻子の信頼を取り戻すことができるのか。深作が初めて平凡な市民を主人公にした作品。ノワールな画面と並走する富田勲の音楽、東京ロケの臨場感、クライマックスの駆け引きとアクションなど、見どころ満載。

1966(東映東京)㊦深作欣二㊨宮川一郎 ㊩山沢義一 ㊫北川弘 ㊬富田勲 ㊭三國連太郎、春川ますみ、西村晃、室田日出男、保積べべ、三津田健、田中邦衛、内田良平、中原早苗

9 4/25(木)7:00pm 5/14(火)4:00pm

カミカゼ野郎 真昼の決斗(90分・35mm・カラー)

パイロットの御手洗(千葉)は、人違いからとある陰謀に巻き込まれ、命を狙われる。ロマチックコメディの要素を持つアクションスリラー。台湾側製作陣との関係の困難から現場は混乱を極め、2週間の予定だった台湾ロケは2か月に延びた。千葉真一が深作初期作品を引き継ぐ明らかなキャラクターをコミカルに演じ、陸海空を駆けめぐり。

1966(にんじんプロ=國光影業)㊦深作欣二㊨太田浩児、池田雄一 ㊩山沢義一 ㊫八木正生 ㊬千葉真一、高倉健、白蘭、大木実、陳財興、國景子、易原、許三、若松和子、関山耕司

10 4/26(金)1:00pm 5/18(土)2:00pm

解散式(90分・35mm・カラー)

深作にとって初の本格的な任侠映画だが、暴力団追放の気運高まる時代、出所した男(鶴田)の戻ってきた組はすでに解散、表向きは正業を営んでいる。そんな中で産業利権を奪い合っている現状と、任侠道に生きんとする古いやくざ魂との齟齬が、新世代監督の深作のあり方を象徴している。

1967(東映東京)㊦深作欣二㊨松本功、山本英明 ㊩星島一郎 ㊫中村修一郎 ㊬富田勲 ㊭鶴田浩二、渡辺美佐子、渡辺文雄、大辻同郎、待田京介、金子信雄、桑山正一、市川好朗、内田朝雄、小松方正、宮園純子、丹波哲郎

11 4/26(金)4:00pm 5/18(土)4:30pm

博徒解散式(90分・35mm・カラー)

『解散式』のヒットを受け、港湾都市の海運業を舞台に作られた続篇だが、任侠の心に生きる男(鶴田)と、新時代のモラルに鞍替えしたかつての仲間(渡辺)がさらに対照的に描かれる。しかも映画の中に任侠道への憧憬は薄く、旧来のやくざ映画の終焉を予感させる作品になっている。

1968(東映東京)㊦深作欣二㊨神波史男、長田紀生 ㊩星島一郎 ㊫藤田博 ㊬富田勲 ㊭鶴田浩二、渡辺文雄、丹波哲郎、万里昌代、河津清三郎、岡田英次、山本麟一、曾根晴美、小松方正、関山耕司、室田日出男







27 5/1(水)4:30pm 5/21(火)7:00pm

### 仁義の墓場(94分・35mm・カラー)

実在のやくざをモデルに、周囲のあらゆる人間に破壊衝動を向け、ついには自滅へと至る男・方夫(渡)の半生を描いた暴力映画の傑作。他者と関係を築く端から、暴力によってそれを無に帰す方夫の狂暴さはやくざ映画史上に類なく、東映および深作映画初出演の渡哲也の演技も凄まじい。回想場面などで時折用いられるセピア調の映像が、「実録」性を高めている。

1975(東映東京)◎深作欣二◎藤田五郎◎鴨井達比古、松田寛夫、神波史男◎仲沢次太郎◎桑名忠之◎津島利章◎渡哲也、梅宮辰夫、多岐川裕美、芹明香、池玲子、八千肇、安藤昇、成田三樹夫、田中邦衛、山城新伍、室田日出男、曾根晴美、今井健二

28 5/2(木)10:30am 5/15(水)7:00pm

### 県警対組織暴力(101分・35mm・カラー)

地方都市の警察とやくざの癒着をえぐり出した深作=笠原コンビの代表作の一つで、警察の側から見た『仁義なき戦い』とも言える物語構造を持つ。刑事・久能(菅原)はやくざの広谷(松方)と懇意にしていたが、県警がエリート警部補海田(梅宮)を送り込みやくざ対策に本腰を入れ始めると、次第に警察・やくざ双方から居場所を無くしていく…。

1975(東映京都)◎深作欣二◎笠原和夫◎赤塚滋◎井川徳道◎津島利章◎菅原文太、松方弘樹、梅宮辰夫、成田三樹夫、佐野浅夫、山城新伍、室田日出男、金子信雄、川谷拓三、池玲子、汐路草、遠藤太津朗、安部徹、田中邦衛

29 5/2(木)1:30pm 5/14(火)1:00pm

### 資金源強奪(92分・35mm・カラー)

8年の刑期を終えて出所したが失望を味わい、刑務所仲間とともに襲撃した賭場でまんまと大金をせしめた元やくざ(北大路)が、完全犯罪に向かってスピーディかつコミカルに動き回る。間の抜けた爆弾作りの川谷拓三、深作映画初出演なのに情に厚い女を熟演した太地喜和子など、俳優陣のアンサンブルも絶妙。

1975(東映京都)◎ふかさくきんじ◎高田宏治◎赤塚滋◎井川徳道◎津島利章◎北大路欣也、梅宮辰夫、太地喜和子、室田日出男、川谷拓三、安部徹、名和宏、今井健二、渡辺やよい、芹明香、松方弘樹

30 5/2(木)4:30pm 5/21(火)4:00pm

### 暴走パニック 大激突(84分・35mm・カラー)

ブラジルへの高飛びを夢みて銀行強盗を繰り返すが、仲間(小林)の死をきっかけに、その強欲な兄(室田)や警察に追われてカーチェイスに巻き込まれる男(渡瀬)と、道行きになった女(杉本)。未練たらたらな女の元情夫(三谷)ほかサイドストーリーをなす一癖ある人物たちを交え、猥雑にラストシーンへと突っ走る。

1976(東映京都)◎◎深作欣二◎神波史男、田中陽造◎中島徹◎富田治郎◎津島利章◎渡瀬恒彦、杉本美穂、室田日出男、川谷拓三、三谷昇、風戸祐介、小林稔侍、渡辺やよい、林彰太郎、潮健児

31 5/3(金)10:30am 5/16(木)1:00pm

### やくざの墓場 くちなしの花

(96分・35mm・カラー)

『県警対組織暴力』に続き、警察とやくざの癒着というテーマに果敢に挑みつつ、在日コリアンの苦難という主題も前面に押し出した、深作=笠原最後のコラボレーション作品。鳥取砂丘の波打ち際で、過去を語った啓子(梶)が童(渡)と心を通わす悲痛なシーンが忘れがたい。警察の本部長を大島渚監督が演じていることに注目。

1976(東映京都)◎深作欣二◎笠原和夫◎中島徹◎富田治郎◎津島利章◎渡哲也、梶芽衣子、梅宮辰夫、佐藤慶、金子信雄、藤岡琢也、矢吹二郎、川谷拓三、室田日出男、成田三樹夫、織本順吉、菅井きん、八木孝子、藤岡重慶、吉田義夫、大島渚

32 5/3(金)1:15pm 5/22(水)7:00pm

### 北陸代理戦争(98分・35mm・カラー)

雪深い福井を舞台に血なまぐさい抗争を描き、「実録」路線の「白鳥の歌」となった深作最後のやくざ映画。当時進行中だった抗争をテーマにしたことから主人公のモデルとなった組長が射殺されるという、この映画がもたらした凄絶な顛末は、のちの伊藤彰彦の著作『映画の奈落』に詳しい。

1977(東映京都)◎深作欣二◎高田宏治◎中島徹◎井川徳道◎津島利章◎松方弘樹、野川由美子、高橋洋子、地井武男、西村晃、遠藤太津朗、成田三樹夫、伊吹吾郎、矢吹二郎、八千肇、千葉真一

33 5/3(金)4:00pm 5/16(木)3:45pm

### 柳生一族の陰謀(130分・35mm・カラー)

深作初の時代劇映画。徳川二代将軍秀忠の死後、その後継をめぐる、長男・家光派と次男・忠長派の対立が勃発。やがて高潔な者、純粋な者たちが、強大な権力の前に次々と倒れていく。超豪華キャストの並ぶ王道時代劇と見せかけて、画面からはみ出すような騒乱演出、奔放な発想の抗争劇、根底に流れる思想に、まぎれもない深作印が刻印されている。

1978(東映京都=東映太秦映画村)◎◎深作欣二◎野上龍雄、松田寛夫◎中島徹◎井川徳道◎津島利章◎萬屋錦之介、千葉真一、松方弘樹、西郷輝彦、大原麗子、原田芳雄、真田広之、室田日出男、成田三樹夫、夏八木勲、三船敏郎、山田五十鈴、丹波哲郎、高橋悦史◎鈴木瑞穂

34 5/4(土)10:30am 5/16(木)7:00pm

### 宇宙からのメッセージ

(105分・35mm・カラー)

東映が『スター・ウォーズ(エピソード4/新たなる希望)』(1977、ジョージ・ルーカス)に着想を得て、同作の日本公開前に11億圓を投じて即製したSF大作。「里見八犬伝」の物語を下敷きに、8人の勇者が、宇宙侵略を目論むガバナス軍を打ち倒すために結集する。ミニチュアセットを自在に駆け回るシュノーケルカメラなど、新技術を導入した迫力ある映像が見もの。

1978(東映京都=東北新社=東映太秦映画村)◎◎深作欣二◎石森章太郎、野田昌宏◎◎松田寛夫◎中島徹◎三上陸男◎森岡賢一郎◎特撮監督◎矢島信男◎ピック・モロロ、真田広之、志徳美悦子、千葉真一、フィリップ・カズノフ、ベギー・リー、プレナン、岡部正純、佐藤亮、丹波哲郎◎芥川隆行

35 5/7(火)12:00pm 5/19(日)10:30am

### 復活の日(156分・35mm・カラー)

小松左京の同名小説の映画化。ウイルス兵器の流出により人類が絶滅の危機に陥る中、南極で生き残った人々の姿が描かれる。深作が、「柳生一族の陰謀」に特別出演した角川春樹に「SFをやってみよう」と話したことから、深作初の角川作品が実現した。当時の日本映画としては空前の24億5千万円の製作費がかけられ、南極を含む世界各国でロケーション撮影が行われた。

1980(角川春樹事務所=東京放送)◎◎深作欣二◎小松左京◎高田宏治、グレゴリー・ナップ◎木村大作◎横尾嘉良◎羽田健太郎◎草刈正雄、ポー・スペンソン、オリビア・ハッセー、夏木勲、グレン・フォード、ロバート・ウォーン、チャック・コナーズ、渡瀬恒彦、ジョージ・ケネディ

36 5/8(水)7:00pm 5/25(土)1:00pm

### 魔界転生(122分・35mm・カラー)

山田風太郎の同名小説(初出連載時は「おぼろ忍法帖」)が原作だが、映画化に際して深作は、徳川幕府転覆を図る魔界衆に細川ガラシャ(佳那)を新たに加え、山田を驚かせている。死から甦った天草四郎(沢田)率いる魔界衆に立ち向かう柳生十兵衛(千葉)という荒唐無稽なストーリーを、いかにリアルに見せていくか、本作は深作には楽しい仕事だったようである。ニュープリントによる上映。

1981(東映=角川春樹事務所)◎◎深作欣二◎山田風太郎◎野上龍雄、石川孝人◎長谷川清◎井川徳道、佐野義和◎山本邦山、菅野光亮◎沢田研二、千葉真一、若山富三郎、佳那晃子、成田三樹夫、緒形拳、室田日出男、真田広之、丹波哲郎、久保菜穂子、神崎愛、菊地優子



仁義の墓場

37 5/7(火)7:00pm 5/22(水)1:00pm

### 道頓堀川(121分・35mm・カラー)

身寄りのない画家生邦彦(真田)と小料理屋の女将・まち子(松坂)の恋愛を中心に、道頓堀界隈に生きる人々の交錯を情感深く描く。登場人物は皆どこかに欠落を抱えた「半端者」として描かれるが、互いに衝突を繰り返す中でむき出しの生の輝きを見せる。深作流メロドラマの見事な達成。ニュープリントによる上映。

1982(松竹)◎◎深作欣二◎宮本輝◎野上龍雄◎川又昂◎森田郷平◎若草恵◎松坂慶子、真田広之、山崎努、佐藤浩市、加賀まり子、カルーセル麻紀、古館ゆき、柄本明、名古屋章、安部徹、大滝秀治、渡瀬恒彦

38 5/4(土)1:30pm 5/14(火)7:00pm

### 蒲田行進曲(108分・35mm・カラー)

つかこうへいの同名戯曲(1980年初演)の映画化で、深作が「映画の三要素、泣く、笑う、(手に汗を)握るの三拍子がそろった」と自負する作品。映画撮影所を舞台に、スターの銀ちゃん(風間)と、彼に献身的に尽くす大部屋俳優ヤス(平田)との一風変わった友情が描かれる。次々に展開される無茶で危険な撮影の様子は、深作の活劇性の好例と言える。

1982(松竹=角川春樹事務所)◎◎深作欣二◎◎つかこうへい◎北坂清◎高橋章◎甲斐正人◎松坂慶子、風間杜夫、平田満、清川虹子、高見知佳、蟹江敬三、原田大二郎、岡本麗、汐路草、千葉真一、真田広之、志徳美悦子

39 5/9(水)1:00pm 5/26(日)10:30am

### 里見八犬伝(136分・35mm・カラー)

鎌田敏夫の小説『新・里見八犬伝』の映画化。静姫(業師丸)を守る光の軍団と悪霊の玉梓(夏木)を首領とする闇の軍団との対決を軸とした、『魔界転生』同様に奇想天外なストーリーが、ケレン味たっぷりに展開されていく。深作は「魑魅魍魎の世界でない時代劇を撮ってもつまらない」と語っている。ニュープリントによる上映。

1983(角川春樹事務所)◎◎深作欣二◎◎鎌田敏夫◎仙元誠三◎今村カ、高橋章◎NOBODY、佐久間正英、難波弘之◎業師丸ひろ子、真田広之、志徳美悦子、岡田奈々、京本政樹、萩原流行、ヨネヤマ・マコ、大葉健二、汐路草、寺田農、目黒祐樹、夏木マリ、千葉真一

40 5/9(水)7:00pm 5/22(水)4:00pm

### 上海バンスキング(121分・35mm・カラー)

大ヒット舞台劇の映画化。1930年代後半、偶然から夫四郎(風間)とともに上海のクラブで働くことになったまどか(松坂)が、戦争に翻弄されながらも明朗さを失わず生きぬくさまを、数々のジャズのヒットナンバーやダンスを交えて華麗に映像化。死者たちも合流する賑やかなラストが、取り戻せない過去への哀惜を一層際立たせる。ニュープリントによる上映。

1984(松竹=テレビ朝日=シネセゾン)◎◎深作欣二◎斎藤麟◎田中陽造◎丸山恵司◎森田郷平、横山豊◎越部信義◎松坂慶子、風間杜夫、宇崎竜童、志徳美悦子、平田満、ケン・フランケル、夏木勲、三谷昇、草野大吾



北陸代理戦争

◎東映



道頓堀川



41 5/11(土)1:15pm 5/17(金)3:30pm

### 華の乱 (139分・35mm・カラー)

『火宅の人』(1986)のヒットを受けて製作された文芸大作。11人の子供を抱え、夫・寛(緒形)の病氣や不倫に悩まされながら、自身も有島武郎(松田)と恋に落ちる謝野晶子(吉永)の大正年間を描く。多くの人物がフールズロトルで生き急ぐ中、社会改革の夢に挫折し「死」に活路を見出す有島を演じた松田優作が異質な存在感を放つ。

1988(東映京都)◎◎◎深作欣二◎◎永畑道子◎◎筒井ともみ、神波史男◎◎木村大作◎◎内藤昭富◎◎井上堯之◎◎吉永小百合、緒形拳、松田優作、池上季実子、石田えり、中田喜子、松坂慶子、成田三樹夫、風間杜夫、蟹江敬三、石橋蓮司、内藤剛志

42 5/12(日)1:00pm 5/17(金)7:00pm

### いつかギラギラする日 (108分・35mm・カラー)

女性・家族向け映画を多作していた深作がプロデューサー・奥山和由と唯一組んだ作品で、久々の純度100%のアクション映画となった。現金強奪一味が仲間割れし、警察に包囲される中、凄絶な生き残り競争を繰り広げる。「実録」路線なき後、深作は暴力=アクションを動機づける怒りを社会のどこに見出したのか。今こそ観直したい一本。ニュープリントによる上映。

1992(日本テレビ=バンダイ=松竹第一興行)◎◎◎深作欣二◎◎丸山昇一◎◎浜田毅◎◎今村力◎◎菱田吉美◎◎萩原健一、木村一八、萩野目慶子、多岐川裕美、石橋蓮司、八名信夫、安岡力也、原田芳雄、千葉真一、樹木希林

43 5/4(土)4:30pm 5/21(火)1:00pm

### 忠臣蔵外伝 四谷怪談 (104分・35mm・カラー)

「忠臣蔵」と、元来「忠臣蔵」世界のネガのように作劇された「四谷怪談」を、映画で初めて融合した話題作。お岩(高岡)は湯女に変更されて無垢な愛を振りまき、伊右衛門(佐藤)は浪人暮らしを琵琶の門付けでしのぎながら、仇討ちに参加できない鬱憤を持って余す。青春のエネルギーを愛と暴力から引き出す深作演出の醍醐味は本作でも健在。

1994(松竹)◎◎◎深作欣二◎◎古田求◎◎石原真◎◎西岡善信、丸井一利◎◎和田薫◎◎佐藤浩市、高岡早紀、萩野目慶子、石橋蓮司、渡辺えり子、火野正平、六平直政、菊池麻衣子、近藤正臣、蟹江敬三、真田広之、田村高廣、名取裕子、渡瀬恒彦、津川雅彦

44 5/12(日)4:00pm 5/17(金)12:30pm

### おもちゃ (113分・35mm・カラー)

新藤兼人が1960年代後半に発表したシナリオを、長年温めていた深作が映画化。京都の花街で修業を積む見習いの時子(宮本)が、一人前の舞妓として菓立つ姿を描く。因習や感傷に流されることなく、己の道を進む時子の生命力溢れるキャラクターは、色街ものとしては出色。宮本真希は第11回東京国際映画祭で最優秀女優賞を獲得した。ニュープリントによる上映。

1999(東映=ライジングプロダクション)◎◎◎深作欣二◎◎◎新藤兼人◎◎木村大作◎◎西岡善信◎◎天野正道◎◎宮本真希、富司純子、南果歩、喜多嶋舞、魏涼子、六平直政、清水鮎治、笹野高史、野川由美子、岡田茉莉子、津川雅彦

45 4/27(土)4:00pm 5/24(金)7:00pm

### バトル・ロワイアル (113分・35mm・カラー)

70歳の深作が日本社会に再び問いを突き付けた、晩年の傑作。42人の中学生が互いに殺し合う世界に放り込まれ、抵抗しながらも次々に命を散らしていく。深作とともに時間をかけて準備を積んだ少年少女たちが、演技の巧拙を超えた存在の輝きを見せる。翌年には追加撮影場面を加えて再編集された『バトル・ロワイアル特別篇』が公開された。ニュープリントによる上映。

※4月27日(土)の回は、上映前に深作健太監督による舞台挨拶があります。

2000(「バトル・ロワイアル」製作委員会)◎◎◎深作欣二◎◎高見広春◎◎深作健太◎◎柳島克己◎◎部谷京子◎◎天野正道◎◎藤原竜也、前田亜季、山本太郎、栗山千明、ビートたけし、安藤政信、柴咲コウ、美波、高岡蒼佑、塚本高史



バトル・ロワイアル ©2000「バトル・ロワイアル」製作委員会

### 展示室(7階)

#### 【企画展】

キネマ旬報創刊100年記念

映画イラストレーター

宮崎祐治の仕事

The Works of Yuji Miyazaki, Illustrator for Films At the Centenary of Kinema Junpo Magazine

2019年4月23日(火)~8月25日(日)

\*月曜日は休室です。

主催:国立映画アーカイブ

特別協力:宮崎祐治/協力:株式会社キネマ旬報社

宮崎祐治氏は、2019年に創刊100年を迎える「キネマ旬報」誌を中心に、数々の映画雑誌、カレンダーや書籍の装丁、ポスターなどに作品を提供し、40年以上にわたって映画ファンに親しまれてきました。本展覧会では原画を中心に、その映画イラストレーションの魅力に迫ります。

\*詳細は当該チラシまたは国立映画アーカイブのホームページをご覧ください。

NFAJ Digital Gallery | NFAJ デジタル展示室 | Digital Gallery | 下記ホームページからお入りください | NFAJ | <https://www.nfaj.go.jp/onlineservice/digital-gallery>



上から『アニー・ホール』(「CINEMA CALENDAR 2005」より)、『仁義なき戦い』(「キネマ旬報」2003年臨時増刊「映画監督深作欣二の軌跡」より)

#### 【常設展】企画展に併設

NFAJコレクションでみる

日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film From the NFAJ Non-film Collection

[Captions in Japanese, English, Chinese and Korean]

開室時間=午前11時~午後6時30分(入室は午後6時まで)

※毎月末金曜日は午前11時~午後8時(入室は午後7時30分まで)

料金(常設展・関連企画共通)=一般250円(200円)/大学生130円(60円)/シニア・高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

\* ( )内は20名以上の団体料金です。

\* 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。

\* 国立映画アーカイブが主催する上映会観覧券(半券可)をご提示いただくと、1回に限り団体料金が適用されます。

\* 5月1日(水・祝)は皇太子殿下の御即位を記念して展示を無料でご覧いただけます。

\* 5月18日(土)は「国際博物館の日」(毎年5月18日)を記念して展示を無料でご覧いただけます。

#### 常設展ギャラリートーク

原則として毎月第一土曜日12時より  
5月11日(4月はお休みします)



国立映画アーカイブ 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分

都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分

東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分

JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600

ホームページ: [www.nfaj.go.jp](http://www.nfaj.go.jp)

Twitter: @NFAJ-PR Facebook: NFAJPR

Instagram: nationalfilmarchiveofjapan

#### 前売券の購入方法

[Pコード:559-795]

チケットぴあ店舗、セブン-イレブンで購入

▶4月9日(火)より各プログラムの前日まで

⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円がかかります。

受付電話(0570-02-9999)で購入

▶4月9日(火)より各プログラムの4日前23:59まで購入可能

⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円がかかります。

\* 毎週火・水2時30分~5時30分はシステムメンテナンスのため受付休止となります。

チケットぴあのサイト(<http://w.pia.jp/t/nfaj-fukasaku/>)で購入

▶購入時期によってご利用可能な決済方法が異なります。

⇒前売料金に加え、1枚につき発券手数料108円、また決済方法によって1件につき決済手数料がかかる場合があります。

\* 手数料等の詳細については、上記チケットぴあのウェブサイトをご覧ください。

前売券の払い戻し、交換、再発行はいたしません。

2階受付では、「NFAJニュースレター」(季刊)を販売しています。これは、国立映画アーカイブのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルムアーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

国立映画アーカイブは、国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。

FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



# 映画監督 深作欣二

Kinji Fukasaku Retrospective

月	火	水	木	金	土	日
4月	1 11:00am開館 1:00pm 「風来坊探偵」シリーズ (計122分)	4 11:00am開館 1:00pm 誇り高き挑戦 (89分)	7 11:00am開館 1:00pm 狼と豚と人間 (95分)	10 11:00am開館 1:00pm 解散式 (90分)	17 9:45am開館 10:30am 君が若者なら (89分)	16 10:00am開館 11:00am 血染の代紋 (87分)
	2 4:00pm 「ファンキーハットの快男 児」シリーズ (計105分)	5 4:00pm ギャング対Gメン (82分)	8 4:00pm 脅迫 (84分)	11 4:00pm 博徒解散式 (90分)	18 1:15pm 軍旗はためく下に (96分)	19 2:00pm 現代やくざ 人斬りと太 (88分)
	3 7:00pm 白昼の無頼漢 (82分)	6 7:00pm ギャング同盟 (80分)	9 7:00pm カミカゼ野郎 真昼の決斗 (90分)	14 7:00pm ガンマー第3号 宇宙大作 戦 (77分)	45 4:00pm バトル・ロワイアル (113分) *上映前舞台挨拶あり	21 4:30pm 人斬りと太 狂犬三兄弟 (86分)
	22 9:45am開館 10:30am 仁義なき戦い (99分)	25 9:45am開館 10:30am 仁義なき戦い 頂上作戦 (101分)	28 9:45am開館 10:30am 県警対組織暴力 (101分)	31 9:45am開館 10:30am やくざの墓場 ちちなしの花 (96分)	34 9:45am開館 10:30am 宇宙からのメッセージ (105分)	3 10:00am開館 11:00am 白昼の無頼漢 (82分)
	23 1:30pm 仁義なき戦い 広島死闘篇 (100分)	26 1:30pm 仁義なき戦い 完結篇 (98分)	29 1:30pm 資金源強奪 (92分)	32 1:15pm 北陸代理戦争 (98分)	38 1:30pm 蒲田行進曲 (108分)	4 2:00pm 誇り高き挑戦 (89分)
	24 4:30pm 仁義なき戦い 代理戦争 (102分)	27 4:30pm 仁義の墓場 (94分)	30 4:30pm 暴走パニック 大激突 (84分)	33 4:00pm 柳生一族の陰謀 (130分)	43 4:30pm 忠臣蔵外伝 四谷怪談 (104分)	7 4:30pm 狼と豚と人間 (95分)
	35 11:00am開館 12:00pm 復活の日 (156分)	19 11:00am開館 1:00pm 現代やくざ 人斬りと太 (88分)	39 11:00am開館 1:00pm 里見八犬伝 (136分)	12 11:00am開館 1:00pm 黒蜥蜴 (87分)	20 9:45am開館 10:30am 「必殺仕掛人」1・2話 (計96分)	6 10:30am ギャング同盟 (80分)
	17 4:00pm 君が若者なら (89分)	21 4:00pm 人斬りと太 狂犬三兄弟 (86分)	16 4:30pm 血染の代紋 (87分)	15 4:00pm 黒薔薇の館 (90分)	41 1:15pm 華の乱 (139分)	42 1:00pm いつかギラギラする日 (108分)
	37 7:00pm 道頓堀川 (121分)	36 7:00pm 魔界転生 (122分)	40 7:00pm 上海パンスキング (121分)	13 7:00pm 恐喝こそわが人生 (89分)	5 4:45pm ギャング対Gメン (82分)	44 4:00pm おもちゃ (113分)
	29 11:00am開館 1:00pm 資金源強奪 (92分)	18 11:00am開館 1:00pm 軍旗はためく下に (96分)	31 11:00am開館 1:00pm やくざの墓場 ちちなしの花 (96分)	44 12:30pm おもちゃ (113分)	1 11:00am開館 11:00am 「風来坊探偵」シリーズ (計122分)	35 10:30am 復活の日 (156分)
	9 4:00pm カミカゼ野郎 真昼の決斗 (90分)	20 4:00pm 「必殺仕掛人」1・2話 (計96分)	33 3:45pm 柳生一族の陰謀 (130分)	41 3:30pm 華の乱 (139分)	10 2:00pm 解散式 (90分)	2 2:00pm 「ファンキーハットの快男 児」シリーズ (計105分)
	38 7:00pm 蒲田行進曲 (108分)	28 7:00pm 県警対組織暴力 (101分)	34 7:00pm 宇宙からのメッセージ (105分)	42 7:00pm いつかギラギラする日 (108分)	11 4:30pm 博徒解散式 (90分)	8 4:45pm 脅迫 (84分)
43 1:00pm 忠臣蔵外伝 四谷怪談 (104分)	37 1:00pm 道頓堀川 (121分)	22 1:00pm 仁義なき戦い (99分)	25 1:00pm 仁義なき戦い 頂上作戦 (101分)	15 10:30am 黒薔薇の館 (90分)	39 10:30am 里見八犬伝 (136分)	
30 4:00pm 暴走パニック 大激突 (84分)	40 4:00pm 上海パンスキング (121分)	23 4:00pm 仁義なき戦い 広島死闘篇 (100分)	26 4:00pm 仁義なき戦い 完結篇 (98分)	36 1:00pm 魔界転生 (122分)	14 2:00pm ガンマー第3号 宇宙大作 戦 (77分)	
27 7:00pm 仁義の墓場 (94分)	32 7:00pm 北陸代理戦争 (98分)	24 7:00pm 仁義なき戦い 代理戦争 (102分)	45 7:00pm バトル・ロワイアル (113分)	13 4:30pm 恐喝こそわが人生 (89分)	12 4:30pm 黒蜥蜴 (87分)	

■作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

4月27日(土)4:00pm「バトル・ロワイアル」上映前に、深作健太監督による舞台挨拶があります。\*舞台挨拶のみの参加はできません。

表紙：『人生劇場』(1983) 撮影現場での深作欣二監督